

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

川口市農業青年会議所

昭和60年2月27日、国際青年年に合わせて、市内農業青年団体6団体が集い設立され、会員約300人が、農業の共通課題への対応や、都市農業の振興、更にはグリーンロードウォーキングの開催などをとおして地域社会へ貢献に尽力している「川口農業青年会議所」のみなさんを岡村市長が訪問。活動内容や今後の課題などを聞きました。



市長 みなさんこんにちは。春の訪れがそろそろ待ち遠しく思う今日この頃になりました。今月の市長のふれあい訪問は川口市農業青年会議所のみなさんです。どうぞよろしく願います。はじめに、この団体はいつ設立されたのですか。

椎橋 昭和60年の国際青年年に、市内の緑化産業を中心とした方々が発起人となって設立しました。

市長 農業青年会議所は全国にたくさんあるのですか。

中山 米や野菜などを生産している農家の青年会議所は多いですが、植木の生産者を中心になっている団体は全国的にも珍しいですね。

市長 会員はどのくらいですか。

石塚 現在は300人くらいです。

市長 年齢制限はあるのですか。

椎橋 青年会議所という名前ですが、特に年齢制限は設けていません。

市長 具体的にはどのような活動を行っているのですか。

中山 植木や野菜などの紹介や



展示会や地域のお祭りに参加したりしています。

石塚 イベントでは、毎年4月29日に「グリーンロードウォーキング」を開催し、500人以上の方に参加していただいています。また、夏にはオートレース場で開催される「たたら祭り」にも緑のコーナーや芋掘り大会などで協力しています。

市長 行政と災害に関する協定を結ぶと伺っていますが。

椎橋 パワーショベルやクレーン車などの重機を所有している会員がいますので、災害復旧にお役に立てるのではないかと考えています。

市長 とてもありがたいことです。また、災害の時に都市の空間として農地は大切ですね。

と同じように日本代表として参加してきました。

椎橋 前回は日本庭園を担当しました。また室内展示では樹木や切花を日本から持って行って展示しました。

市長 ほかの国に比べ本場に素晴らしかったです。海外でも盆栽は人気があるそうですね。

中山 世界では、植木もそうですが、盆栽は大変人気があります。

市長 これから植木も世界に目を向けて、どんどん売り込んでいく必要がありますね。

中山 避難所などになりますから大事ですね。

市長 その意味でも都市農業はすごく重要だと思っています。課題などはありませんか。

石塚 一番大きな問題は、土地が相続税の支払いで減ってしまうことです。

市長 税金の問題は非常に大きな課題です。このような問題を含めて、人口減少社会の中で都市農業をしっかりと考えていこうと思っています。

ところで来年は10年に一度のオランダの国際園芸博覧会「フロリアード」が開催されますが、**椎橋** 今から準備をしています。が、国の関係もあり正式にはまだ参加は決まっています。

市長 これまで、オリンピックと同じように日本代表として参加してきました。

市長 市としても全面的にバックアップしていきたいと思っています。都市に農業が併存していくというところが、都市の生活者にとってもありがたいことだと思いますので、ぜひ若手のみなさんに頑張ってもらいたいと思います。それでは最後に今後の抱負などがありましたらお聞かせください。

椎橋 川口は都市部ですが、頑張って緑を残し、住みよいまちづくりの手伝いをさせていたいただきたいという思いで、頑張っていきたいので今後ともよろしくお願います。

市長 ぜひよろしく願います。今日はどうもありがとうございました。

